



霊園だより 2010. Vol.11



発行：財団法人みやぎ霊園
 住所：〒989-3121 仙台市青葉区郷六字大森 2-1
 電話：(022) 226-2440 Fax：(022) 226-3238
 URL <http://www.miyagi-reien.or.jp/>
 Mail：aoba@miyagi-reien.or.jp



巻頭エッセイ

白米

佐佐木 邦子

仕事柄、学生の書いた文章に接することが多い。あるとき「どんぶりに山盛りの白飯（しろめし）を食べる」という表現に出会った。おかずなしでご飯を食べる、という、少々気の毒な状況をいうのだそうだ。

今の若者はこういう言い方をするのか、とちょっと驚いた。「どんぶり一杯の白飯」は私にはまさに理想的なものに思え、筆者が言おうとしていることが即座にはつかめなかった。

少し昔、混じり物のない米の飯は贅沢だとしてめったに食べない土地は、どこにでもあった。死期の近付いた病人の耳もとで竹筒に入れた米を振り、米の音を聞かせたという話も、聞いたことがある。米はそれほど貴重で、これを腹一杯食べることが、長い間庶民の夢だった。食べ物が十分ある現代だって、飯と言わずにわざわざ「ご」を付けて「ご飯」という。

今でこそ米は人が食べるけれど、かつては神様の食べ物だった。死にそうな病人の耳もとで米を振ってやるのは、高価な米を食べさせることができなからせめて音を、という意味だけではないだろう。米が人を越えた大きな力を持っていたから、米の力による病気の回復を祈ったのだ。

人生の大事な節目にも、しばしば米が登場してくる。赤ちゃんがオギャーと生まれて百日目、ご飯を炊いて食べる真似をさせる。結婚式のときは新郎新婦に山盛りにしたご飯を食べさせ、末長い幸せを祈る（三三九度の風習は後になってからのものだ）。人が死ぬと枕もとに山盛りにしたご飯を供え、あの世へ旅立つための力を付けさせる。

米をそのまま食べるだけではない。糯米ともなれば、搗く割合や食べ方によって名前が違った。100%搗けば餅だが、半搗きにして笹の葉にくるめばチマキ、茗荷の葉なら茗荷餅。同じように小豆をまぶしても、牡丹の季節にはぼたもち、萩の季節にはおはぎと呼びならわした。時代が下るほど人の楽しみに力点が置かれるようになったけれど、ひとつの材料を細かく大事に使い分けるのも、米が神に等しかったことの名残だろう。チマキもぼたもちもおはぎも、季節の節目に食べることが多かった。節目には魔に付け入れられることも多いから、米でなければならなかった。

ところで現在。貧しい若者がおかずなしでポソポソ食べる一人ぼっちのご飯を、白飯と呼ぶとか。しかし数百年に渡る米の力が、一気に消えることなどあり得ない。余分なものを加えず、神の力だけをストレートに食べているようなものだ。少々寂しく見えようが、大いなる未来がすぐそこまで来ているのではないかと思う。

佐佐木 邦子 (ささき くにこ)

- 小説家、シナリオライター、日本ペンクラブ会員、日本民話の会・みやぎ民話の会会員、仙台市史編纂委員 他。
- 略歴／昭和56年宮城県芸術祭文芸賞(小説)、昭和57年宮城県芸術選奨新人賞(小説)、NHK仙台放送ラジオドラマ・コンクール最優秀賞。昭和59年中央公論新人賞(小説「卵」)受賞。昭和60年芥川賞候補(同)、小説やシナリオを書く一方、民話探訪の為に地域を歩く。
- 著書／「泥鬼」、「卵」、「オシラ祭文」、「宮城集治監」、「宮城県の民話」(共著・宮城県教育委員会)、「土地に根ざした民話」、「みやぎの女性史」(河北新報社、担当・芸術・民族)など。

NEWS ニュース

- 霊園の西側用地の造成工事をおこないます。
- 新しい墓地区画を募集いたします。
- 冬期間も中間トイレと7区前水汲場が利用できるようになりました。
- ふれあいゼミナール2010の参加募集いたします。
- ご法事室が新しくなりました。ご利用ください。
- 落葉や枯花供物、役目を終えた卒塔婆・骨箱の堆肥化に取り組んでいます。



社の都の公園墓地



 **みやぎ霊園**
 (022) 226-2440



墓地管理料について

ご使用家様で管理していただく墓地の内を除き、待合室や緑地植栽、園内共有部分の施設管理や事務管理などの霊園運営に要する費用は、皆様にお支払いいただく管理料によってまかなわれています。
管理料は、所定の期日までにお支払くださいますようお願いいたします。

霊園内でのお願い

- 大切な墓地内に雑草が根付いているのを見ることがあります。お墓を清潔に保つために、お掃除や草取りにお出かけください。
- お墓参りの折に、お菓子や果物などのお供物を置いておくと、腐敗しカラスや蜂が集まり、墓地や墓石が汚れてしまいます。墓地を清潔に保つため、ご面倒でもお供物はお持ち帰りください。

お墓内の除草について

皆様のお墓内部は、ご使用家様で管理いただいておりますが、管理事務所では清掃活動の一環として、お墓内の草取りサービスを実施しております。5月～9月の間、作業員が巡回して除草をいたしております。ご理解とご協力をお願いいたします。

更地でご利用の方へ

長い期間更地のままで、雑草が根付いている区画に気付くことがあります。墓地区画を更地でご利用されている場合は、使用範囲の区画を明らかにするために、墓地契約日から2年以内に 外柵まではお建ていただくようお願いをいたしております(霊園使用規定第8条)。ご協力をお願いいたします。

各種手続について

- 名義変更
名義を変更される場合は、永代使用許可証、名義変更申請書、戸籍謄本(新旧名義人の関係がわかるもの)が必要です。
- 住所変更のお届出はお早めに・・・
お引越などで住所が変更した場合は、管理事務所までご一報下さい。
- 各種証明書発行
納骨・改葬・分骨など必要に応じて各種証明書を発行いたしますので、管理事務所にお申し出ください。
- 納骨手続き
納骨に際しては、管理事務所への届出が必要です。事前に日時をご連絡ください。
- 墓地の返還
お引越しや改葬等、諸事情で当園の墓地が不要になった場合は、墓地永代使用権をお返しくください。墓地返還の手続きが必要です。詳しくは管理事務所にお問い合わせください。

連絡先 管理事務所 (022) 226-2440

車上盗難にご注意ください

駐車中に、貴重品盗難の被害にあう方がいらっしゃるようです。車内から見えるところにバックなどが置いてあると、鍵をかけていても窓ガラスを割られることがあるようですので、車上あらしには十分お気をつけください。

僧侶のご紹介

ご納骨やご法要などに際して、ご僧侶を紹介いたします。管理事務所へご相談ください。



真心をこめて
思い出に残る式をお手伝い

フラワー&ミュージックメモリー

納骨の儀・ご法要の儀
思い出を大切に残す。

ヴァイオリン演奏



思い出の
曲を
奏でます

装花サービス



上記サービス一式 52,500円(税込)

※詳細につきましてはご相談承ります。

偕楽の碑

養護老人ホーム宮城県偕楽園は、昭和27年3月に生活保護法（昭和38年8月からは老人福祉法）に基づく高齢者施設として、仙台市向山に誕生しました。

当時、向山には県立の中央児童館、特別養護老人ホーム和風園、保母専門学院、亀亭園などがあって「社会福祉教育文化の丘」と呼ばれていたそうです。その後、建物の老朽化等もあり、昭和53年に黒川郡大和町小野地区に新築移転して、現在に至っています。

利用定員は80名、現在は2名定員の居室で63名の方が生活されています。

高齢者施設のなかでも、養護老人ホームは「環境上の理由・経済上の理由」で居宅での生活が困難になった65歳以上の基本的には元気な高齢者が行政の措置により入所して生活する施設です。

現在の建物は鉄筋コンクリート2階建て、本館と居住棟の2棟からできています。自然の地形を活かした洒落た設計の建物で、中庭の池には金魚が泳いでおり、本館2階の食堂や集会所からは泉ヶ岳をきれいにすることができます。

偕楽園では「自分らしく生きいき生きる」をモットーに、利用者みなさんに個別支援計画（パッケージプラン）に基づいた支援をおこなっています。自由な雰囲気なかで、元気にたのしく生活していただき「生きがい」を感じていただくことは大きな目標のひとつです。もうひとつの目標は、できるだけ自立した生活を元気に過ごしていただきながら、心身ともに活力を取り戻して、再び地域生活に戻っていただくことです。

そのため、近隣の団地に「体験の家」と呼んでいる戸建て住宅を借り、そこでの少人数による生活を通して、再び地域での生活ができるよう支援する取り組みをしています。数は少ないですが、「体験の家」での生活を経て、新しい生活を始めた方もいらっしゃいます。

しかし、一方で、病気で亡くなったり、介護度が高くなって特別養護老人ホームに移る利用者が毎年おられます。亡くなった方は、家族の方とふるさとに帰られますが、利用者のなかには亡くなった後のことが懸念される、家族と疎遠な方、身元引受人がいない方が少なからずおられます。

昭和51年にみやぎ霊園にできた「偕楽の碑」はどうしても帰るところがない方に最後に休んでいただくところです。

偕楽園では毎月供養会を開き、亡くなられた方の霊をお慰めするとともにお盆と春彼岸には利用者みなさんのお世話になっているお寺の住職さんとみやぎ霊園に出かけ、「偕楽の碑」に眠られている方を供養しています。

宮城県偕楽園 米山様より（黒川郡大和町・西8区）

水仙



高橋スマノ様より（仙台市青葉区・13区）

みやぎ霊園の法事室が新しくなりました

納骨法要・回忌法要など皆様のご都合にあわせてご利用ください。

要予約 Tel 022-226-2440

料金 525円/人（30名様まで）

*彼岸・お盆の繁忙期はご利用できません



法事室→

←お客様控室



提携している周辺の法宴施設

料理仕出し

一燈明 みぶな	0120-155-327
魚長	022-263-7131
味の金魂	022-277-1041

ご会食施設

仙台 勝山館	022-213-9188
伝承千年の宿秋保温泉 佐 勘	022-398-2233

・お申込みの際にみやぎ霊園使用家とお伝えください。



年次報告



● 日常業務



お墓の巡回除草



植込み剪定



交通誘導警備



A



藻泥の除去



下草刈払



除草剤噴霧



B

● 平成21年度業務

- 4月 桜苗木の植込み (40本) A
- 5月 法事室改修工事 (畳→フローリング) B
- 6月 管理棟屋上防水工事 C
中間トイレ改修工事 D
財団定例理事会
隣接地 (計29,567㎡一部) の取得
- 7月 宮城県公益法人立ち入り調査
西7区増墓工事 E
- 8月 お盆期間仙台駅～霊園間シャトルバス運行 F
- 9月 駐車禁止標識付き木製プランター設置 G
西6-2区入口生垣植込み
7区前道路舗装工事 H
- 10月 車上盗難注意看板取付け
霊園東側用地調査測量
秋の墓地見学会開催
- 11月 西11区擁壁側溝蓋補修工事
みやぎ水子地藏尊合同慰霊祭
仙台北税務署税務調査
- 12月 資料室移転
中間トイレ・7区前水栓防寒ヒーター取付け
年末大掃除
- 1月 お客様控室改修工事 I
松枯防止剤樹幹注入 J
- 2月 落葉・宗教廃棄物堆肥化の試み K
造成工事に関する杜の都土地利用調整条例
協定書締結及び宅造法許可申請
- 3月 霊園だより・管理料請求書発送

*事業報告はホームページで公開しています。
<http://www.miyagi-reien.or.jp/>



C



D



E



F



G



H



I



J



みやぎ霊園ホームページ

うっしー日記 | お知らせ | 催事 | ふれあいゼミナール | バックナンバー

少しずつですが、ホームページをリニューアルしています。どうぞ、お立ち寄りください。

検索 **みやぎ霊園**



K